

# “The Art of Prediction”

## - 未来の見方、教えます -

こんにちは、木坂です。

半ば毎年恒例となっている、一般の方も参加可能なセミナーのお知らせになります。

別に希少性を出したいとかそういうヨコシマな気持ちで年に1回しか開催していないわけではなく、単に他のセミナーや諸々の仕事が忙しすぎて、開催できていないだけですが、いずれにせよ、新年に行うこのセミナー、僕は毎回非常に楽しみにしています。

まず、何よりも新しい出会いがある。

そして、気持ちが新しくなる。

それだけでも、この時期にセミナーをやる意味があろうというものです。

そう言えばこれからセミナーの説明を始めますが、いつものように、セミナーに来る気が全くない人でも、このPDFを読めば、それだけで本5冊分くらいの学びになるように書いていますので、勉強目的の人は、是非印刷して、ノートをとりつつ読んでみてください。

さてさて、去年はスピリチュアルセミナーでしたが、今年のセミナーのテーマは、一言で言ってしまうと、

### 「時代の見方、世界の見方」

です。

僕がネットビジネスを教えるようになったのが何年前かは忘れましたが、僕はその時からずっと

「これからは過渡期であり、混乱が生じ、淘汰の時代になる」

と言いつけてきました。

また、昨年からインテリジェンスなどという講座を本格的に設け、ビジネスは当然として、そもそも世界の混乱に備えようという活動をしていることからわかるとおり、世界的に見てもこれからはわかりやすく混乱が生じてくると、僕は考えています。

実際、日本の周りだけで見ても、山ほど混乱が生じていますね。

2010年、たとえば東アジアに限ってみても、いくつかの大きな外交上の危機がありました。

韓国の船が沈められ、尖閣諸島をめぐる日中が対立し、北朝鮮が突如として延坪島を砲撃するなど、まだまだ記憶に新しいのではないかと思います。

ビジネスをやっている人などは、よりそういう実感があることでしょう。

そんな所だけを見ても、今が過渡期、混迷の時代、少なくともそんなイメージの時代であることはなんとなく実感してもらえと思いますが、では、そういう、言ってしまうと「面倒くさい時代」を見る力というのは、どうやって養えばいいものなのか、あるいは、世界の動きはどうやって見ればいいものなのか。

もっと言えば、時代的にも世界的にも、未来の予測というのはどの程度可能で、それほどのようにして行えばいいのか。

「次にヒットする商品は何ですか」といった話からそれこそ「今後通貨はどうなりますか」のような大きな話までを内包できるような、そんな枠組みを提示できないものか、と思うわけです。

というのも、実際に僕は時々上記のような質問をされるのですが、そんな簡単には答えられない問題でして、正直に言えば

**「でかい世界地図を広げて、それを見ながら歴史と哲学を学んで下さい」**

になるのですが、さすがに、それではあまりにも時間がかかり過ぎるし、あんまりだとも思うわけです。

ですので、今回その辺の「見方」というものにフォーカスしたセミナーを開催するか、ということに、あいなったわけでありませう。

おそらく、このままいけば2014年くらいまでは、あまり楽な時代にはなりません（特に2011年と2012年はしんどい年になると思います）。

日本の内外でもいろんな問題が起こります。

ビジネスをやっていく場合でも、よくわからないような現象にたびたび出くわすと思ひます。

そんな時代と世界を軽やかに生きていくための知恵を磨く、そんなお手伝いができればいいなと思ひ、今年はこのテーマです。

## 未来予測を行うということ。

たとえば、「次はこうなるよ」という予測を友達に話し、それが大体あっていた時、その友達は大変驚きます。

どうしてお前にはそんなことがわかるのか、超能力者なのか、俺の結婚運を見てください、と。

それ自体多少気分のいいものでもありますが（笑）、僕は同時に不思議になります。

「お前は どうして そんなことも わからないのか」

と。

同じ情報に触れていながら、同じ国の同じ地域に住んでいながら、同じ世界を生き同じような生活をしていながら、なぜお前はそういう予測が立てられないのか、と真面目に思ってしまうのです。

当たり前ですが、未来を予測するという事は、特殊能力でも何でもありません。

スポーツや語学と同じで、正しい方法で学んで訓練すれば、誰でもできるようになる類のものなのです。

実際に、世界的に高名な霊媒師や超能力者と呼ばれている人たちなどは、たとえばそういう摩訶不思議なことはよく当たるのですが（僕自身経験があります）、一方で世界情勢に関しての予言をほとんど外すという傾向があったりします。

この事実が意味することは、非常に重要であって、「まあ、当たることもあれば外すこともあるよね」などという軽いテイストで流してはいけない情報が含まれていることを、まずは理解してください。

超能力者が行うのは、あくまでも人知を超えた力による、予言です。

そこに理屈はありませんから（厳密に言えば、理屈を超えていますから）、僕がセミナーでお話しできることはありません（お見せできることは、幾ばくかあるかもしれませんが）。

**僕が今回お話ししたいのは「予測」であって、この予測に関して大切なのは、天に与えられた特殊な才能ではなく、何よりもまずデータのインプットになります。**

なぜ世界情勢に関する予言が当たらないか？

話は非常に簡単で、頭の中に、世界情勢に関するデータを持ってないからです。

逆に、たまにテレビなどでもやっている、CIA や FBI など特殊な訓練を受けた人による透視などがありますが、こういった類の的中率は、実は高い人だと 5 割近くに上ります。

なぜそんなに当たるのかと言えば、彼らは世界の誰よりも、対象に対してのデータをインプットしているからに他なりません（これはつまり、ものすごく限られた対象にしか、有効性を発揮できない、ということでもあります）。

実際に観たことはないのですが、テレビではきっと超能力と同じような、不思議なパワーという感じで放送されていると思います。

が、本当のところを明かしてしまえば、彼らが「透視」と呼んでいるものは、単に訓練で獲得できる力なのです（この説明じゃあ視聴率は、期待できませんね 苦笑）。

僕が今回のセミナーでお話ししたいのは、簡単に言えば、こういう「予測」のロジックというか、方法論です（透視に関してお話しするわけではありませんが、応用はきくと思います）。

## 「お前の眼は、節穴か」

という表現が日本語にはありますが、僕が思うに、非常に穏やかに表現しても、現状ほぼすべての人の眼は、節穴です。

目が節穴で、その人が困るだけならまだしも、厳しい言い方かもしれませんが、目が節穴だと、社会に対して、大なり小なり、損害を与えます。

ですから、節穴であることを自覚して、日々ちゃんとした「眼」にする努力をするのが、生を与えられた人間の責任だと、僕は思うのです（節穴でなくなったかどうかは、永遠にわかりませんから、つまり一生努力をしていくということです）。

そのお手伝いができたらと思いインテリジェンスに関する講座を昨年からは設けていますが、基礎講座のみならずその上位クラスであるマスタークラスを受講している方たちも、なかなか苦戦しているようです。

もちろんそんな一朝一夕に身につけてしまうほど簡単なスキルであるはずもありませんが、ただひとつだけ、誤解しないしてほしいことがあります。

マスタークラスの受講生が苦戦しているのは、情報の集め方というよりは、集めた情報の処理の仕方なのです。

基礎講座の中でも何度かお話ししていますが、僕は別に特殊なソースを見たり聞いたりしているわけではありません。

本気でやる場合、そういう面が皆無であるとは言いませんが、基本的には誰でもアクセス

できるニュースや写真、映像などからいろんな情報を得て、考え、予測を立てるときは立っています。

マスタークラスでは、実際にウェブサイトを開き、僕がどのような記事をどのような風に読み、どのような映像をどのように見て、どのようなことを考え、どのように真実に迫り、またどのように未来の予測を立てているか、目の前で見せましたが、ソースは誰もが検索すればすぐにヒットするようなニュースサイトやウィキペディアや動画共有サイトの動画などだけでした。

特殊なソースは一つもありませんし、海外のソースすら、誰でもアクセスできるものが1個か2個だけだったと思います。

というか、インテリジェンス活動を行うにあたっては本来あり得ないことなのですが、そもそもその時は、ウェブサイトだけしか、参照していないわけです。

受講生のほとんども、僕が事前に出した課題をこなすにあたって、同じソースを以前に目にしています。

しかし、僕が見えていた世界の一部しか、残念ながら見えていない。

目の前に真実のかけらが転がっているのに、それをみすみす見逃している。

もちろん、だからこそ毎月訓練をしているわけですが、これが現実なのです。

このことから、あるひとつの大事なことが導かれますが、本当の意味での情報格差、とは、アクセスできる情報量の差ではありません。

**アクセスした情報をどれだけ意味のあるものにできるか、という「処理能力の差」のことを言うのです。**

## たとえば。

2010年、それをついこの間ですが、韓国、ヨーロッパ、アメリカ、日本などがイラン

の石油開発から手を引いたという報道が、日本でもされました。

日本は、自分たちがメインとなって開発している数少ない大油田の一つを、失ったわけです。

イランがオフィシャルに代弁してくれた通り、当然日本はなるべくなら手をひきたくなかったわけですが、アメリカが中心となり、イラン制裁の一部として、同盟諸国に話を持ちかけ、実行に移したわけです。

さて問題なのは、これで石油が大変だね、あー困った困った、などということではなく、その後の話です。

韓国、日本、ヨーロッパ諸国、アメリカが手を引いたとなると、誰が代わりに開発するのか？という疑問が当然出てきますね。

日本できちんと報道されているかどうかは知りませんが、その空洞 (= 権益) のほとんどを埋めたのは、中国の、それも国営の企業です。

つまり、今世界で一番資源がほしい国中国が、得をしたことになるという見方ができます。

また、さらに言えば、中国とイランがつながったことになる。

このことは、開発撤退の主導をした米国にとって、どういう意味を持つか、考えなくてはいけません。

米国がイランを嫌っているのは誰の目にも明らかだと思いますが、同時に、中国にも警戒感を示しているように見えますよね。

しかし米国が行ったイラン制裁は、一方で中国をさらに巨大化させることになりかねない結果を導きました (イランも開発投資が続くために、結局は得をしています)。

こんな単純なことを、アメリカの政府中枢にいる天才たちがわからないはずはなく、当然知っていて、行っているわけです。

さらに、これに関連して、その中国が軍事衝突を起こしまくっている、東南アジアの、南沙諸島。

中国は「ここは俺の領土なんだよ」などと意味のわからないいちゃもんをつけて、軍艦を送り込みまくっているわけですが、日本ではほとんど報道されない不思議なことがあります。

実は、中国と南沙諸島を巡って揉めている東南アジア諸国のうち、ベトナム以外は、中国製の武器を買いまくっているのです。

逆に言えば、中国は、自分が軍事的に揉めている国に対して、武器を売りまくっているということですね。

この意味が、わかるでしょうか？

こういうことというのは、慣れている人にとっては当たり前すぎて何でもないことなのですが、慣れていない人にとっては、不思議で仕方なのないことに映ると思います（し、ほとんどの人は、そもそもこの事実を知らないまま死んでいくと思います）。

こういった事柄と、尖閣の問題、延坪島の問題、あるいは日本国内で言うと、たとえば鳩山政権の崩壊や小沢一郎の問題、極めて新しいところでは、日産とルノーが共同開発している電気自動車の機密情報が幹部社員によって漏洩されたことなど、無関係ではないのです。

全て一本の線につながっている、とまでは僕は言いませんが、それでも、少なくとも、無関係ではない。

## 世界の先を見て、時代の先を見るのに、何が必要か？

いま国際外交上の例をひとつあげましたが、こういうことが、我々の人生を覆い尽くしているのだということを、まずはわかってほしいと思います。

我々は、実は何も見えていない。

眼は開いているけど、それはきちんと訓練しない限り、ただの節穴なのです。

先ほど、世界の動きを予測したり、時代の先を見たりするには、「でかい世界地図を広げて、それを見ながら歴史と哲学を学んで下さい」と書きましたが、その真意は、

**「世界を水平（国際関係）・垂直（歴史）・普遍（哲学）の3方向から理解することにより、予測の精度が限りなく高まる」**

ということになります。

これができれば、僕のセミナーなんか、受講する必要は1ミリもありません。

データのインプットが何より大切であるということも言いましたが、それはあくまでも世界や歴史における未来を「予測」するためであって、この場合の「予測」とは、知識（データ含む）と経験（思考法含む）に基づき、ある意味ロジカルに未来を考えることを意味しています。

であれば、そのために必要なことは、超能力などとは違って、明確にわかります。

それはつまり

1. 知識・経験
2. 思考法
3. 普遍を求める意識

の3つであり、我々はこれらを磨けばいいということになります。

なぜ“本当の”占いが当たるのか、というのはこの3つを高いレベルで満たすからです。

占いを信じない人というのは、僕に言わせれば、単なる勉強不足にすぎません。

こんなことを言うと占い師の方は起こるかもしれませんが、占いは、現代的な言葉で表現すれば、統計学的なバックボーンを持つ確率論と言えます（本当の言葉で表現すると、ちょっと日常語ではなくなるので、この場では割愛します）。

ですから、この基本的な事実がわかっているならば、原則として信じられるものなのだとということが直ちに理解できます（ただし、雑誌などに載ってるやつは、糞味噌区別がつかない

ような学生バイトが書いていたりするので、占いとはみなしません。

**少し話がずれましたが、要するに、この3つの基本要素を、磨いていくことを主眼に置いたものが、今回のセミナーになるということです。**

## 実は・・・

現在、世界の某所で、7～8割程度の確率で未来の予測を的中させてきているコンピューターが稼働しています（隠されてはいません。調べれば普通にわかると思います）。

非常に高い確率で当たることからわかると思いますが、あまり具体的な予測はできず、どちらかという、大枠の予測になりますが、それにしたって、この数字は脅威だと個人的には思います。

そのコンピューターによると、2012年、世界の3人に2人が、非常に大きな出来事を経験するそうです。

具体的に何を経験するかはその人によるでしょうから、それはもはや予測ではなく予言になってしまい、コンピューターの範疇を大幅に超えてしまいますが、いずれにせよ、7割近くの人が、2012年に、非常に大きな出来事を経験するというのです（一応、人類滅亡などではありませんよ）。

僕は、このコンピューターの予測を知る前から、具体的には2008年から、2011年と2012年は特にしんどくなると、言ってきました。

コンピューターに予測ができるのであれば、当然データさえあれば人間にも予測ができるわけで、さすがに3人に2人という数字までは僕は予測できませんが、言わんとしていることは、何ら驚くに値しません（もちろん聞いていただければ、僕がそう予測した具体的な根拠も示します）。

2012年に何かしらの大きな出来事を経験するということは、それに向けての準備や、余震・予兆のようなものがあるはずであり、そういう観点からも、2011年、今年も結構きついんじゃないの、ということが予測できます。

当たる確率と抽象度は反比例の関係にありますから、当たる確率を高くしようとすれば、このくらいの抽象度になるかなと思います。

具体例を挙げれば、尖閣に関するビデオが YouTube に流出するとまでは予測できないけれど、何らかの形で国民の目にさらされる、というくらいまでならかなりの確率で予測できるということですね。

このビデオに関して本当のことを言うと、僕自身は「数分間だけ公開」か「あるマスコミのすっぱ抜き」のどちらかだろうと考えていました（つまり、全面公開とか、逆に全面非公開はないと予測していたわけです）。

結果、蓋を開けてみれば、方向性は合っていたものの、公開のされ方、また公開された長さという面で、予測は外してしまいました。

今思えば、手持ちの情報だけで見ても、そんなに予測できないような特殊な形での公開ではないわけで、僕自身の至らなさを反省するところではありますが、それはともかく、何となく、予測というもののイメージはつかめたでしょうか？

セミナーを受講してくれた方は、こういうことが、当たり前のこととして、日常的にできるようになってもらいたいと思っています。

周りの人が気がつく一歩半前に、それが見えるような力。

**そのための知識、考え方などをお話し、いわばあなただけのタイムマシンを作り上げるお手伝いをさせていただくのが、このセミナーの目的です。**

## コース概要。

一応今考えている概要ですが、3コースありまして、それぞれ簡単にではありますが、説明させていただきます。

## 1. 基本コース（受講人数限定なし）

これが最もベーシックなコースになります。

内容としては、

- ・セミナー受講（基本的には抽選）
- ・セミナービデオ・セミナー音声・使用した資料一式配布
- ・質問権（いい質問に関しては、音声などで回答・配布）

になります。

セミナーの内容は、これまで説明してきたように、未来を見る力、次を読む力、時代の変化を一步半手前で見抜く力、そういったものを養ってもらうために必要な知識を、包括的にお話しするものになります。

たとえば、ですが、ビジネスに興味がある人は「次に流行るものは何なのか」とか「人々のニーズや心理はこれからどう動くのか」などといったことが自力でわかるようになりますし、あるいは投資などを行っている人は今後通貨がどうなっていくのか、などの予測が立てられるようになります。

通貨と言えば、現在は国の信用が担保となった貨幣制度ですね。

これは信用創造という名の巨大詐欺であると言ってもいいような制度なわけですが、実際問題、それが続くのか、それとも金本位制のような、何か物質を担保にしたものになるのか、などの予測が立つようになるわけです（そうなれば、当たり前ですがたとえば「金の価格はどこまで上がるか」などは容易に見えるようになります）。

立てる予測の具体度は自分の力量、つまり持っている情報と経験、さらには思考力次第ですが、そうですね、少し訓練していただければ、「今後3年でメインストリームとなるビジネスモデル」とか逆に「今は十分成り立っていて隙もないように見えるけど、今後すたれる一方のビジネスモデル」くらいであれば、十分見えてしまうと思います。

**未来さえ見えれば、自分の行動を決めるのは簡単です。**

またあるいは、普通の真理とか、そういうものに対する知的ロマンを持っている人（＝たとえば僕自身ですが 笑）の欲求を満たすことも、もちろん考えています。

キーワードは、何度も出てきていますが、「国際関係、歴史、哲学」であり、それをいかにして現実世界に落とし込むか、抽象的で学問的な話に終始せず、現実望む結果や幸福に結びつけるかが僕の仕事になります。

このコースの受講費は、5万円（税込）です。

## 2. 上位コース（12人限定）

本当は50人限定だったのですが、既にマスタークラスや基礎講座、アルケミーなどの受講者の方を対象に募集をしまして、そのうち38人ほどこちらのコースに申し込んでくれましたので、残りは12人となります。

内容としては、上記基本コースに加え、

- ・ライブ受講優先受付
- ・『グランドデザイン』配布
- ・時代と世界をより正確に見るための参考文献一覧配布
- ・リアルタイムな出来事を取り上げた補足音声セミナー配布（回数未定）

になります。

いくつか補足があります。

まず『グランドデザイン』ですが、これは僕が具体的にどういう枠組みに沿って世界や時代を見ているか、を表した資料になります。

国際関係、歴史、哲学という3つのキーワードを挙げましたが、これらがどのようにデザインされ、僕の頭の中におさまっているのか、それをできるだけ忠実に再現しようと思っています。

どのような形の資料になるかはまだ未定ですが、不思議がる人が多い僕の頭の中が、少しわかるかもしれません（笑）。

次に「リアルタイムな出来事を取り上げた補足音声セミナー」ですが、これは、実際に世の中の動きがあった場合、僕がそれを取り上げて意味や、今後へのつながりなどを解説する音声になります。

これは重要な出来事が起こって初めて録音するものなので回数は決めていませんが、何度か言っているとおり、2011年と2012年はとても重要な年ですから、ビジネスや外交、政治や経済など、多岐にわたる話ができるんじゃないかと、僕自身楽しみにしています。

普通は見逃すようなこと、普通は隠されてきちんと報道されないようなこと、そういう出来事が、実は重要だったりしますので、そういうものをメインに解説できればいいなと思っています。

必要だと判断した場合には、一般人がアクセスできないソース（人的ソース含む）からの情報も、流すかもしれません。

このコースの受講費は、15万円（税込）です。

### 3. 最上位コース（2人限定）

最後がこのコースになります。

例によって、本当は15人限定だったのですが、今現在の残りは2人です。

内容としては、上位コースに加えて

- ・ライブ受講確約
- ・『Prediction～木坂の予測～』
- ・質問権（個人的回答確約、有効期限特になし）

- ・ パーソナル指導（教材や指導スタイル等全てその人に合わせオリジナルで作成）
- ・ 1on1 面談（1回あたり90分程度、回数は2～3回まで、有効期限特になし）
- ・ 「人間 - 魂 - 神」セミナー招待（参加無料）
- ・ Prediction 新年会（木坂のおごり）

がつきます。

分かりにくそうな部分の補足ですが、『木坂の予測』はそのまんまで、セミナーでお話しする枠組みに従って、僕がいろんなことを予測してみます。

当たるか外れるかというより、ケーススタディ的なものだとお考えください（場合によっては、予測してほしいものの希望をとるかもしれません）。

面談に関しては、例によってどんな相談でもかまいませんし、特に1年とか期限も設けませんので、何かを話したい時、相談したい時、不測の事態が起こった時、ご自由にいらしてくださいませ。

「人間 - 魂 - 神」という胡散臭い名前のセミナーですが、これは昨年行ったスピリチュアルセミナーの先にある、理性を超えた世界の話だと思ってください（あくまでも言葉で解説しますので、完全に飛び越えてしまうわけではありませんが）。

ですから、神秘思想の色が濃くなります（一言、神秘思想、というのは、歴史的に「異端」というレッテルを貼られてきた一派のことですが、逆に言えばそれほど危険な（＝真理に近い）思想を内包していたということです）。

もちろん神秘思想の全てを網羅することなど到底できませんが、その導入としてふさわしいセミナーになるよう、今からいろいろと考えています（多分、神秘思想史、というよりは、もう少し実践的な内容になる予定です）。

**このセミナーは、内容が内容なので、一般募集をしません（一般販売もないと思います）。**

ですので、事実上この最上位コース受講者のためだけに開催することになりますが、だからこそ、テーマ的にずれることはなく、つまり、あくまでも「未来を見る、時代を見る、自己実現をする」というメインテーマに関連する形でお話しすることが可能になるかなと思っています。

「引き寄せの法則」とか「シンクロ」とか「思考は現実化する」とか、そういった事柄を神秘思想的側面からも理解したい場合は特に面白いと思います。

一応3月の開催を予定していますが、3月は年度末ということで忙しい人も多く、もしかしたら4月以降にするかもしれません（事前に希望をとります）。

もちろん抽選などではなく希望者は全員ライブで参加していただけるようにしますが、同時にビデオ撮影も行い、資料と共に配布しますので、復習やどうしてもライブで参加できなかった場合などにお役立てください。

最後、新年会に関して、**Prediction** 新年会などという大層な名前がついていますが、これはただの楽しい食事会です（笑）。

ただ、僕はほぼ全く懇親会の類を開催しませんので、こういうラフな席で僕に本音を聞いてみたい、初参加者はぼかーんとしてしまうほどのレベルの高さを誇る参加者と仲良くなりたい、などの希望がある場合には大切な場かもしれません。

仮にカメラが回っていても、僕は空気を読まず本音しか言いませんが、まあ、聞きやすい聞きにくいなどの問題もあるでしょうから、どうぞ参加される場合は有効に使ってください。

あと、僕がこういった会を開催するときは、実費をいただかずに、僕が全ての参加者の分の費用を負担する形でやっております。

正直、時として信じられない金額になるのですが、まあ、イチイチ実費を徴収するのも面倒くさいし、別にいいかということでそんな伝統になりました。

僕から見ても意識と能力が高い人たち同士での懇親を楽しんでいただければと思います（かくいう僕自身も、意外と楽しみなのですが 笑）。

ただ、すいません、個人的にもものすごい手間がかかりそうであることと、具体的な予測や神秘思想セミナーなどは、そう簡単にばらまいてはいけないものであると考えていることなどから、募集人数が極端に少ないのですが、その点はご了承ください（希望者の数によっては、多少増員することは検討しております）。

このコースの受講費は、35万円（税込）です。

## お年玉。

僕のセミナーを受講してくれる方というのは、ほぼ大半がいい年こいたおっさんなので、お年玉というのもおかしな話なのですが、新年ということもありますし、また例によって今年はこれだけの開催になるかもしれませんので、特別に、3つの音声を受講者全員に配布いたします（基本コースから最上位コースまで全員に配布になります）。

### ・録りおろし音声1（非売品）：『目標達成の真実—今年望みをかなえるための10のステップ—』

新年、1年の目標を立てる人は多いと思いますが、その年が終わるとき、実際に振り返って満足な結果が得られている人はほとんどいないのではないかと思います。

毎年この時期は必ず目標設定に関する相談を何人かの方から受けますが、昔、夏休みの初めに計画を立てて結局8月31日に手つかずの宿題を大急ぎでやるような経験が癖になっているのか何なのか、イマイチ立てた目標通りに生きていくということが、難しいようです。

ですので、目標を立てる、達成する、望みをかなえる、という3つのことにフォーカスした音声を録ることにしました。

10のステップ、となっていますが、実はこの音声には叩き台があります。

もう10年近く前になるでしょうか、僕が初めてコピーライティングを本格的に教えてもらった人物に John Carlton という人がいます。

彼の文章は今読んでも面白いなあと思いますが、彼が今年の最初に、ブログでこういったタイトルの記事を更新していたのです（英語ではありますが、普通に検索してもらえば見つかるとと思います）。

それを目にし、感心するところ、僕だったらこうするなと思ったところ、いろいろありまして、その記事を叩き台にして、僕なりの考え方を話ししようと思いましたが。

本当のところを言えば、おそらく彼はわざとそうしているのですが、彼のブログで紹介された記事の内容は、初歩中の初歩の話であって、限りなく基本的な事柄に限定されています（もちろんそこに込められた深みを読みとることは可能ですが）。

実際に読んでいただければわかることですが、巷の成功法則や自己啓発で言われていることと大差ない解説をしている部分も散見されます。

**もちろんこれはこれで大切なことなのですが、ただ問題なのは、実際その人がいるステージによっては、全く異なったアプローチをしないと、むしろ悪い方向へ導いてしまう、ということです。**

僕自身、今年もそういう高いステージにいる人からの相談を何件か受けましたが、そういう人に向けた目標達成法は、残念ながら現状まったく誰も語るができない、あるいは語ろうとしません。

ですから、そもそもここで言う「ステージ」とは何なのか、自分のステージにピッタリあった目標達成法とはどういうものなのか、なぜ自分は毎年思ったほど目標が達成できないのか、あるいは目標を達成してもあまり満足感や充実感を感じられないのか、そういうところを解説していこうと思います。

**繰り返しますが、この音声でお話ししているのは、目標の立て方ではなく、あくまでもそれを含めた「達成法」です。**

目標なんて、いくら正しく立てたって実際に達成できなければ意味がないわけで、もっと言うと、「目標だから」などという義務感などとは無関係に、ただやりたいようにやっていたら気がついたら達成できていた、というものでなければ意味がないわけで、この音声はそこにポイントがあります。

毎日やるべきことを紙に書き出しひとつずつこなしていくのも大切なかもしれませんが、それ以前に、もっともっと重要なことがあるのだということを分かってもらえればと思います。

## ・録りおろし音声2 (非売品) : 『なぜあなたの話は通じないのか?』

タイトルからもわかるとおり、基本は、コミュニケーションの話になりますが、たとえばジョイントベンチャーなどをやっている人にはそれ以上に直接的な話になると思います。

なぜ、ジョイントベンチャーを100発100中に近い確率で組める人もいれば、誰に何をアプローチしても断られてばかりいる人もいるのか、そもそも人はどういうときに断るのか、などの話をするからです。

僕にしては珍しく具体性の強い話になる部分もあるかと思いますが、別にいつも抽象度の高い話をしたくてしているわけではないので、気にせず聞いてください。

人が耳を閉ざすとき、否定的な感情を持つ時、逆に肯定的な感情を持ち、心を開くとき、などといったことから、「誤解」が起こるメカニズムや「わかったつもり」の危険性、独りよがりの人や極端に人の話を聞かない人と接するときの考え方などに至るまで、できる限り包括的に話していきたいと思います。

「成功の秘訣はコミュニケーション力」などと言われるようになって久しいですが、皮肉なことに、そう言っている人で、コミュニケーション力が高そうな人に僕はあまりあったことがありません。

コミュニケーションはとても複雑で、デリケートなものですから、体系的に学ぶなどということができないためでしょう（コミュニケーション学なんか、それを学んでいる人のコミュニケーション力の低さを見れば、現実的には何の役にも立たないことが一目瞭然ですね）。

特に、僕だけかもしれませんが、営業マンがよく読むような本に書いてあるテクニックを駆使できる人に会うと、気分が著しく悪くなる傾向にあり、ぶっちゃけていうと、仏の木坂が、ムカつきます。

### (バカ) 丁寧な言葉と(嘘臭い) 笑顔にイラつくようになってしまうのです。

僕の発した言葉を無意味に繰り返されたり、しぐさを何となく真似されたりするのもイラしますし、必要以上に理解と共感を示されるのも気持ち悪いです。

当たり前ですが、コミュニケーションとは、そんなところに重要性があるわけではないの

です（し、実際僕はこれくらい否定的な感情を持っているわけですから、少なくとも僕に  
関してはその時聞く耳を閉ざすという狙いとは逆の結果が得られていることとなります）。

にもかかわらず、いろいろ面倒くさいので、それしか普通は教えてくれません。

そういうところに、あえて切り込んでいきたいと思います。

コミュニケーションは当然「自分と相手」が最低存在して成り立つわけですから、この音  
声ではその双方の視点から解説していきます。

が、案外、この両者の視点から解説してくれる本やセミナーなどはないのではないでしょ  
うか。

広く対人関係（家族関係から友人関係、そしてビジネスなどオフィシャルな場での関係に  
至るまで）に悩んでいる、あるいは興味がある人に向けた音声になります。

ちなみに、これらの音声2つは、セミナー前に配布します。

別にこれを聞いてくれないとセミナーの意味がわからないとかそういうことは全くありま  
せんが、内容的に、特に目標達成に関しては、早くに学ぶにこしたことはないだろうと思  
いまして。

### 録りおろし音声3（非売品）：『ドラッカーとの対話』

空前のドラッカーブームとなった2010年ですが、僕が知る限り、ドラッカーの真意・  
本意をきちんと汲み取っているものはほぼ皆無だったように感じます。

ドラッカーは、経営コンサルタントでも、マネジメントの専門家でもありません。

彼は、純粋に思想家です。

それも、極めて学際的な思索を展開している人物だと、僕は理解しています（だから、彼  
の著作は、しょーもない本だらけのビジネス書としては異例に面白いです）。

また、時々言及されることですが、ドラッカーが何年何十年も前に指摘していたことが実

際に現実になっていることも結構多いのです。

「ドラッカーには未来が見えている」とか「ドラッカーは現代の予言者だ」などと言われることも少なくありませんでした。

**ビジネスをやっている人は特にわかると思うのですが、これは、彼が「国際関係、歴史、哲学」という3要素を高いレベルで統合させることに成功していたからに他なりませんし、ドラッカー信者であるユニクロの社長は、実際ドラッカーの本に従ってユニクロをあそこまで大きくしました。**

このように考えてみると、一般的に、ドラッカーを本当の意味で読めている人は多くないと思います。

そういう視点から、ドラッカーの本を読んでみよう、エッセンスをできるだけドラッカーの意思に沿う形で解説してみよう、というのがこの音声の趣旨になります。

ドラッカー好きも、興味はあったけど実際には読んだことがない人も、それぞれの楽しみ方ができる音声だと思います。

僕からのお年玉は、以上3つです。

是非、今年、またそれ以降人生において、役立てていただければと思います。

## Seeing is believing.

中学校の頃、「百聞は一見に如かず」のことわざの英訳として覚えさせられたことと思います。

いかにも西洋的なフレーズで、個人的には「うーん」という面もなくはないのですが、それでもこれは一面では真実を語っているから歴史を超えて残っているわけです。

世の中には、自覚的無自覚的問わず、優柔不断で、行動力がないという人がいます。

僕の感覚では、行動力のなさというのは「慎重である」ことの裏側だと思っていますから、世間が思っているほど一概に悪いことではないように感じていますが、しかし当の本人は非常に気にしていることが多い。

確かに「いつまでもうだうだ悩んでるだけで結局何もできない」「まずは行動してみるべき」などと言われ続ければ、気にもなると思います。

「おいしい食べ物をどんなに想像したっておなかはいっぱいにならない」わけですから、行動が重要であることには僕も異論がないわけですが、ではなぜそういう人たちは「優柔不断」「行動力がない」という状況から抜け出すことができないのでしょうか？

その答えのひとつが、僕は Seeing is believing.にあると思っています。

彼らは、一言で言えば何が正しいのかわからず決断できないのでしょう。

僕自身「石橋を叩いて渡らない」ことがままある方なのでよくわかるのですが、失敗はしたくない、できれば最善の道を歩きたい、という思いが強いために、もっと言えば、ある道を見つけたとしても、もっといい道があるような気がして、いつまでも悩んでしまう、だからいつまでも道を決めることができないのだと思います。

そして決断できないから、当然行動もできない。

行動ができないから、結果も得られるはずがない。

そういうことなんだと、僕は理解しています。

だとすれば、そもそも「もっといい道があるかもしれない、失敗は嫌だ」となってしまう原因は何かと考えればいいわけで、それは

**「正しいもの（＝世界）が見えていないから」**

に尽きるのではないかな、と。

正しいものが正しく見えていれば、普通に考えて、もはや「本当にこれであっているのか」「もっといい道があるのではないか」「見落としている情報があるのではないか」などと悩

むこともなくなるのではないかと思うのです。

つまり、見えないから信じられない。

信じられないから行動できない。

ということは、まずは見ることであり、見ることさえできれば、あとはドミノ倒しのよう  
に、うまく転がっていく可能性が高いと言えるのではないかと。

よく「自分に自信を持ちなさい」と言われますが、朝起きたらイキナリ自信満々になっている、などということなどあり得ないと思います（もしかしたら一部そういう人もいるのかもしれませんが）。

毎朝鏡に向かって100万ドルの笑顔を作り続けてなんだかよくわからないけどとりあえずありがとうと連呼して、「自分はできる」と自己催眠をかけようとし続けることも必要なかもしれませんが、僕自身は、それで効果を感じたことはありませんし、それで生まれ変わった人に出会ったことはありません。

もっと、単純に、かつ論理的に考えてみればいいのです。

自信を持つためには、当たり前ですが「自分に確信を持つ」ことが必要で、自分に確信を持つということは、正しいものが見えている、自分は正しい道を歩いている、という認識からしか、生まれないとはいませんか？

その確信を持てるようになること、それが今回のセミナーの、裏テーマだったりします。

自己啓発のセミナーではありません。

**しかし、今簡単に見てきたように、世界と時代を正しく見るようになるということは、必然的に、自分に対する確信、すなわち自信を手にし、堂々と自分の人生を生きていく、自己実現に向かって行くことにつながるのです。**

そういうことを念頭に置きながら受講してもらおうと、また脳みその違った部分が活性化して面白いかもしれません。

控え目に言ってもそんな素晴らしいセミナーを、もし受講してみたいという気になりまし

たら、

[こちら](#)

から連絡をお願いいたします。

それでは、またセミナーでお会いできれば嬉しいです。

今年一年、お互い素晴らしいものにしてまいりましょう。

ありがとうございました！

木坂

追伸：どうでもいいことかもしれませんが、未来の予測の基本は今説明してきたとおり、**Seeing is believing.**です。

しかし一方で神秘思想では、**Believing is seeing.**になります。

正直に言えば、この本当の意味が理解できるようであれば、神様セミナーは必要ないかもしれません。

**Seeing is believing.**と **Believing is seeing.**の両方をバランスよく理解・実践することで、究極的な意味での自己実現が現実のものとして、はっきりと見えてきます。

僕はよく「何にも心配がないのですか」と（半分呆れて）聞かれますが、このことを理解できた時、生きていく上での悩みの多くは、きれいさっぱり消滅するのではないかと思います。

追伸2：ちょっととっちらかってしまったので、一応コースと対応コンテンツだけまとめますね。

1. 基本コース：受講制限なし、受講費5万円。

- ・セミナー受講（基本的には抽選）
- ・セミナービデオ・セミナー音声・使用した資料一式配布
- ・質問権（いい質問に関しては、音声などで回答・配布）

2. 上位コース：12人限定、受講費15万円（税込）。

- ・（基本コースに加え）ライブ受講優先受付
- ・『グランドデザイン』配布
- ・時代と世界をより正確に見るための参考文献一覧配布
- ・リアルタイムな出来事を取り上げた補足音声セミナー配布（回数未定）

3. 最上位コース：2人限定、受講費35万円（税込）。

- ・（上位コースに加え）ライブ受講確約
- ・『Prediction～木坂の予測～』
- ・質問権（個人的回答確約、有効期限特になし）
- ・パーソナル指導（教材や指導スタイル等全てその人に合わせオリジナルで作成）
- ・1on1面談（1回あたり90分程度、回数は2～3回まで、有効期限特になし）
- ・「人間 - 魂 - 神」セミナー招待（参加無料）
- ・Prediction 新年会（木坂のおごり）

全コース共通お年玉：

1. 『目標達成の真実ー今年望みをかなえるための10のステップー』
2. 『なぜあなたの話は通じないのか？』
3. 『ドラッカーとの対話』

です。

詳しい説明は本文を読んでみてくださいませ。

最後にもう一度、参加応募フォームは

[こちら](#)

になります。